



【学校教育目標】「総合的な人間力を培い、
未来を生き抜くことができる生徒の育成」
【重点目標】将来にVisionをもち、自分を律しながらやり抜く力(未来志向力)を
表出できる生徒の育成

-Well-beingの視点を取り入れた東雲カリキュラムのマネジメントを通して-

【校訓】
自 尊 創 造
健 造

校長の話

「春日東中校区ふれあい事業」

校長 柴田 みどり

1月21日の日曜日に「東中校区ふれあい事業」が春日市スポーツセンターで実施されました。春日東中学校からも各部伍から多くの生徒が参加していました。カローリング大会が行われていましたが、地域の方々とそして小学生も一緒になり、各地区対抗で熱戦が繰り広げられていました。

コロナ禍以前は、多くの地域行事に多数の生徒たちが参加していました。当時は休日の部活動の練習試合等との兼ね合いもあり、どちらに参加するかなど悩ましい課題もありました。それがコロナ禍では、地域行事自体が中止になったり、縮小したりする時期が続きました。そして学校でも、学校行事が中止になったり縮小となったりする中で、地域行事に対しても参加体制を見直さなければならないことが続きました。

現在、まだ感染症対策は必要ではありますが、さまざまな学校行事が再スタートしています。しかし、地域行事への参加が十分にすすんでいない現状があります。もちろん、部活動や個人の活動との兼ね合いといった課題は、今もありますが、地域行事の意義、良さを学校で広く伝えていかなければと思っています。校区ふれあい事業の生徒の様子を見て感じたことは、文字通り、多くのふれあいがあるということです。普段は、なかなか話すことが無いさまざまな年齢層の方々と、スポーツを通して、喜びを分かち合うことができていました。地区によっては、春日東中の卒業生も参加していました。このような行事参加を通して、将来は地域を担う人材に成長していくんだらうと率直に思いました。そして、小学生を見て、あと数年したら、中学生として春日東中学校に入学する生徒になるんだなと感じました。

校区ふれあい事業では、さまざまな運営や参加の景品等が準備されていました。本当は、こうした準備の段階から中学生が地域に参画し、一緒に準備や運営ができるようになると、社会関係力が身についていくと考えます。これこそコミュニティ・スクールの良さだと感じます。まずは、残された今年度の地域行事に積極的に参加する体制を学校で築いていくことを目指していきたいと思っています。そして次年度は、本校で掲げている学校幸福度を高めるために、地域・学校・家庭の連携を今一度、見直していかなければと考えています。そのためにも次年度は、生徒の参加だけではなく、保護者の方々にも地域行事への積極的参加を呼びかけていきたいと思っています。コミュニティ・スクール春日東中学校として一歩前進していけるように頑張っていきたいと思います。どうぞ、今後とも引き続きご支援ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

感染症予防について

先日、福岡県医師会から新型コロナウイルス感染症が増加傾向にあり、さらにインフルエンザも多い状況との発表がありました。学校では3年生の受験の時期となり、引き続き感染症拡大防止対策として、換気・手洗いなどを行ってまいります。ご家庭でも体調管理には十分ご注意ください。玄関と保健室に検温表示器を設置しておりますので、保護者や地域の方々も、来校の際はご活用ください。

冬休み前・冬休み明け全校集会



冬休みが明けて、全校集会を行いました。感染症予防のため今回も放送で行いました。最初に校長先生から能登半島地震についてお話があり、被災された方々への思いとともに、これからの残り3か月をこのクラス・この学年・この学校で良かったと思えるように頑張っていこうとお話がありました。その後、生徒会集会を行い、執行部から学校生活について話がありました。また、昨年末の冬休み前全校集会では9組の表彰が行われました。



生徒会リーダー研修 12月22日(金)・25日(月)



12月22日(金)の午後と25日(月)の終日、生徒会リーダー研修が行われました。新生徒会役員が集い、来年度の春日東中学校の生徒会活動や生徒総会での提案に向けて準備をすすめました。アイスブレイキングでは、調理実習やレクリエーションを行い、お互いの仲も深まったようです。自主運営を目指して、これからも頑張っていきたいと思います。